

(1) 講演者紹介 - テッド・H・バンデンボス

オランダで生まれ育つ。米国アリゾナ州立大学で公認会計分析学士号、経営学士号修得。カナディアン・ベンデックス・ファイナンシャル株式会社（1976年設立）とEBA株式会社（Executive Benefit Administration Corp.）の最高経営責任者（CEO）を兼任。カナダでも早くからファイナンシャルプランナーとして、特にユニバーサルライフ、投資信託を中心に代理店システムを通じて活躍している。主な取扱商品としては生命保険（UL）、障害保険、年金（401k型など）、歯科保険などがある。歯科保険は歯科医療協会と開発した従来の保険とは異なる新しい形で、業界、顧客より高い評価を受けている。

(2) カナダにおける生命保険の保有契約高（保障額総額）

1998年末、カナダの生命保険の個人契約保有高は9,395億ドル、グループ保険は9,080億ドル、合計で1兆8,475億ドルです。1件当たりの平均保障額は\$110,500です。最近の傾向は、グループ保険より個人契約の伸びが高く、グループ保険が、5.6%、個人が7.3%です。保険のタイプには主に掛け捨てと終身がありますが、終身保険は死亡保障の他に、非課税枠を利用した貯蓄機能を備えています。カナダでは貯蓄部分の成長は非課税扱いになることに加え、死亡保険金に税金がかかりません。

(3) カナダの生命保険

カナダの生命保険会社は、投資信託のようなセグリゲートド・ファンドと401kタイプの年金を扱っています。1998年にカナダ全体で支払われた掛金は総額で174億ドルでした。その75%はセグリゲートド・ファンドです。1998年末、年金、セグリゲートド・ファンドの資産は596億ドルです。個人年金分野の年金数は保険会社が66%を占め、401kタイプの年金分野の契約数は、証券会社、銀行に続き第3位です。

(4) カナダの生命保険

自由競争により価格が引き下げられることは、皆さんがご存知の通りです。日本は、人口1億2,500万人のところに生命保険会社の数は46社で、カナダのような競争はほとんどみられません。カナダは3,000万人の人口のところに、139の生命、医療保険会社がありますが、カナダの会社の市場占有率は72%です。S&P社はこの状態を“驚異的”と評しております。こうした状況により、カナダ国内外を問わず加入者に健全な管理体制、高い運用利回り、そして商品価格を提供できるようになりました。

(5) カナダの生命保険

1998年末、カナダの生命・医療保険会社資産は合計2,272億ドルでした。

資産の運用はほとんどカナダで行われ、主なものとして

債券 1,006億ドル

株式 501億ドル

抵当証券 437億ドル

資産は、銀行と年金基金を除く他の金融業者よりも多く、カナダで最も重要な長期資金源の一つです。

(6) カナダの生命保険

1998年、カナダの生命・医療保険会社が国外の加入者から受け取った生命・医療保険と年金の掛け金は295億ドルに上ります。20カ国以上で合計約1,000万人以上の人々がカナダの生命保険に加入しています。カナダの生命保険業界は、カナダで最も重要な商品のひとつを輸出しています。1998年末現在、カナダ国外の人が加入したカナダの生命保険は保障額で1兆3,000億ドルに登ります。その内訳はアメリカが70%、イギリスが24%、そして5%がアジアです。カナダの生命保険会社は、外国の生命保険会社がカナダで集めるより多くの保

険料を、外国の加入者から集めています。例えば、1998年、イギリスが集金した保険料はカナダ全体の0.5%以下で、アメリカでもやっと0.6%です。

(7) カナダの生命保険

外国におけるカナダの保険会社の業績は、カナダ国内の厳しい競争力や、外国の加入者からのカナダの保険会社の健全性や完璧な管理体制などに対する信頼度を証明しています。事実、国外における活動により、発展しつつある魅力的な市場の商品、開発への接触を可能となり、カナダの保険会社の活動・加入者数を拡大しました。

(8) カナダの生命保険

生命保険・医療保険業界は北米において引き続き最も信頼性が高く、優れた金融サービスのひとつです。国際的信用の高い格付け会社は、常にこの点を強調しています。“A. M. Best は、カナダの生命・医療保険業界を、健全で経営的にSTRONG. 《安全》と評価しています。この評価は、高い資本比率、収入の増加、投資面における問題点の減少を反映したものです。

(9) カナダの生命保険

Duff & Phelps Credit Rating Coはカナダの生命保険業界の資本について全体としてSTRONG. (安全) であると考えています。これはDCRが、カナダ生命保険業界の資本の適正さは、DCRの“AA”安全と評価する範囲にあると判断したことで証明されます。

(10) カナダの生命保険

カナダの生命・医療保険会社は、47%の掛け金が国外からという実績をもって、世界20ヶ国以上の市場ですばらしい記録を残しています。

(11) カナダの生命保険

ある調査会社は次のようにコメントしています。“カナダの生命・医療保険業界の国際市場の成功はカナダのビジネス界にとって最も良い秘密のひとつに上げられます。国際市場の成功は、求人数の増加と外貨の獲得をもってカナダ経済に貢献すると共に、カナダ生命保険業界が引き続き経済的強さを維持する面で大いに貢献しています。”

(12) 金融機関監督官事務所

(カナダでは金融会社を設立する場合、州政府の管轄下で、その州内で営業をする場合と、連邦政府の管轄下で全国的に営業を展開できる二通りがありますが、後者をFederally Regulated Financial Institution (FRFI) と言います。)管轄になるとは具体的にどのようなことなのでしょう？FRFIの場合は次のような3つのキーがあります。

1. FRFI には何が要求されるか。
2. FRFIはどのように経営を継続しなければならないか および
3. OSFI が常時行う監督とはどのようなものであるか

(13) 金融機関監督官事務所

FRFIには次の機関があります

- 銀行
- 生活共同組合
- 生命保険会社
- ローン会社
- 企業年金基金

- 不動産・損害保険会社
- 信託会社

(14) 金融機関監督官事務所

会社がFRFIになるには当局に申請しなければなりません。申請者は申請書が最終的段階に入る前に、OSFIと共に法律や規則を満たしているかを確認することが必要です。申請書には、選択した営業分野で事業を展開する為に最小限必要な能力と資源を持っている事を証明する十分な情報が含まれていなければなりません。

(15) 金融機関監督官事務所

当局は法律に則り、特に以下の点について検討します。

- ①金融機関に、継続して資金援助を提供できる申請者の資金源の性質と量。
- ②事業計画の健全性と成功の可能性。
- ③申請者のビジネスの記録と経験。
- ④その金融機関を運営する人の信頼性、及びその人達の性質・能力・経験が金融機関の運営に適しているか否か。
- ⑤カナダ金融業界で質的に消費者にとり最高の機関であるか

(16) 金融機関監督官事務所

申請者が適格と診断され、FRFIとして認定されると、営業を継続する上での規約を満たさなければなりません。更に規則を守っているかどうかOSFIが引き続き、監督します。規約が守られていない時は、OSFIは矯正的な対処を要請することがあります。

(17) 金融機関監督官事務所

OSFIの検査項目には次のような点が含まれます。

- ・ 資金源
- ・ 流動性
- ・ 組織と管理
- ・ 役員と経営陣

(18) 金融機関監督官事務所

(I) 資金源

FRFIになるには事業を興し、継続していく為の十分な資本金が必要です。資産と負債の差である資本は、収入の少ない時や予期しない損害を受けた時に、会社が継続していく為に必要になります。銀行や殆どの生命保険会社は、開設資金として最低1,000万カナダドルが必要となります。

(19) 金融機関監督官事務所

(I) 資金源 (つづき)

十分な開設資金に加え、常時、一定の資金が確保されていなければなりません。一般的に、OSFIはFRFIが規定最低額以上の資金を確保するよう希望しています。資本が規定額を下回ると資本を追加するか、不足額を補う何らかの方法を取るよう監督事務所が指導します。状況により、監督庁は特定の金融機関に対し、業界の規定額よりも高い資金額を設定することが出来ます。

(20) 金融機関の監督官事務所

(I) 資金源 (つづき)

銀行や生命保険会社は、資金最低額の設定にあたり“リスクを基本にした”方法をとります。つまり、資金レベルは保有資産のリスクの大きさを加味して設定されます。生命保険会社の資金レベルは、負債の額にも左右されます。保険金請求額が予想を上まわる場合には、支払いの金額が変わってくるのでこのような方法が取られます。

(21) 金融機関の監督官事務所

(II) 流動性

FRFI は十分な流動資産を必要とされます。流動資産は現金またはすぐに現金化できる資産で、営業活動上必要な請求に応じられるものでなければなりません。一般に、FRFI は負債の支払期日には、手元に十分な現金があり、支払いが出来るよう、期限になる負債額と満期になる資産額が同じレベルになるよう調整しています。

(22) 金融機関監督官事務所

(II) 流動性 (つづき)

OSFIは流動資産について特定の最低レベルを強制することはしませんが、営業活動を継続していく中での流動資産を監視しています。

また年間監査の一部として、FRFIの流動資産運営方針を調査します。

(23) 金融機関監督官事務所

(III) 組織と管理

FRFI

はビジネスを能率よく展開する為、適切な組織と管理システムが必要です。経営陣は、適切な決断を下す為に、最新情報に精通していなければなりません。

他のビジネスと同様に、FRFI

は、散在するリスクの可能性を最小に押さえる手段を取らなければなりません。

。

(24) 金融機関監督官事務所

(IV) 役員会と経営陣

役員会はFRFI

の経営に関し、最高責任があります。しかし、日常業務上の膨大な決定は、経営者が行います。従って、FRFI

は金融会社の運営に必要な経験と技能を備えた人材を揃えることが重要です。

経営陣は日々の業務に加え、会社の最高の発展を目指し、経営戦略を練り、実行に移します。

(25) 金融機関監督官事務所

FRFIは、継続的にOSFIに報告書を提出しなければなりません。報告書には、組織としての情報とその経営報告が含まれます。組織情報は、役員と監査役、および株主・役職職員の名簿、ならびに関係法規や役員・監査役の変更届けなどです。

経営報告は、年次報告、監査を受け署名入りの決算報告書類、税務書類やその他の会計関係月間報告・四半期報告などです。

(26) 金融機関監督官事務所

金融機関監督官事務所の使命として、FRFI

と年金基金の監督機関であると掲げられています。OSFIの役目は加入者、預金者そして年金加入者が不当な損害をこうむらないよう保護する事です。OSFIは、この考えを一步進め、競争の厳しい金融界に対する消費者の信頼を高めるような監督体制をとっています。

OSFI の継続的な監督には、提出された報告書の分析と規定のFRFIの検査を含みます。検査には、現場における多数の社員や外部監査人代表などの面接を含みます。検査は、リスクを基本にした方法で行い、会社内のリスクが存在する部署に対して、また、会社がそうしたリスクを如何に対処するかについて集中的に行います。

(27) 金融機関監督官事務所

検査では、規則が守られているかどうかについても調査します。通常、 OSF

は資産、資本、経営、収益、そして流動性 (Capital, Asset, Management, Earnings, and Liquidity) の頭文字を取った“CAMELキャメル”の調査、及び再保険、保険業務の負債、そして加入審査について調査します。

(28) 金融機関監督官事務所

OSFI

はそれぞれの点を査定し、改善が必要と思われる点について指導します。通常、会社は欠陥を補うための修正措置をとります。規則が大幅に破られ、過剰なリスクが起りつつある場合、OSFIは規定の処分をするか、規定期間中に特定の措置を取るよう要求することができます。

(29) 加入者保護政策

FRFI

の加入者には、FRFIが破産した場合に備え、各種の保障制度が用意されています。保険業界は加入者保護の為、業界の費用で生命保険医療保険保障会社 (CompCorp) を運営しています。

(30) CompCorp

生命保険、医療保険業界、政府にとり、加入者、消費者保護は最優先項目のひとつです。1989年に保険業界主導により、消費者保護制度が設立されました。Canadian life and health Insurance Compensation Corporation、通称ComCorpと呼ばれる組織で、カナダの生命、医療保険会社が倒産した場合は一定額を、加入者に保証するものです。ComCorp会員である保険会社の規定に合った保険は自動的に保証されます。

(31) CompCorp

CompCorpの保証は

- 生命保険の保障部分は 20万カナダドル
- 貯蓄は、政府登録年金 (RRSP) ・非登録年金、団体貯金・個人貯金とは別に6万カナダドル

(32) CompCorp

CompCorp

は政府機関ではなく、会員の資金で運営される私企業です。会員から1年間に徴収する金額には限度があります。しかし、次のような拘束力を備えています。

- 1) 連邦政府や州政府の大部分が、生命・医療保険会社にCompCorpに加入し、会費を払うよう命じます。
- 2) 会員はメンバーシップを継続し、CompCorpが徴収する査定額を支払うよう義務つけられています。
- 3) CompCorpは、負債返済の為、必要な期間、査定額を徴収する権限を持っています。

(33) セグレゲイテッド・ファンド

1961年に、生命保険会社は、“セグリゲイテッド・ファンド”の取扱いを許可されました。生命保険会社は複数のファンドを扱うことを認められています。ファンドは生命保険会社の所有となりますが、ファンド資産は会社の他の資産とは分けて扱います。運用方法は加入者が選ぶことができますが、これまで株式ファンドが最も広く利用されてきました。

(34) セグレゲイテッド・ファンド

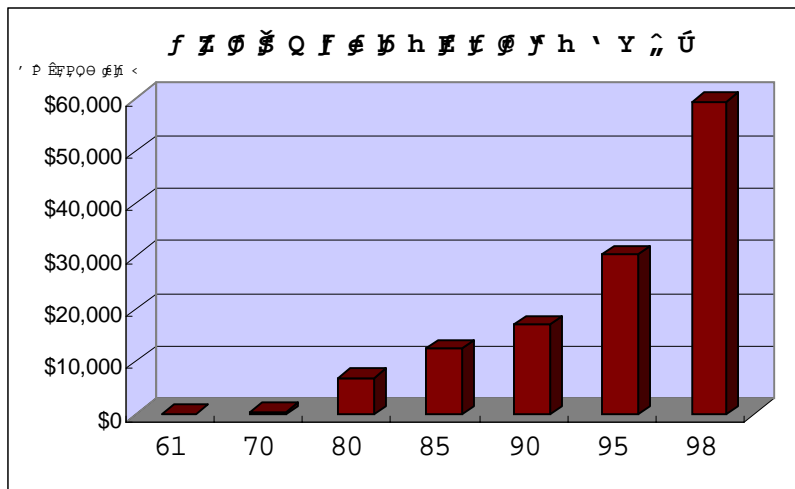
セグリゲイテッド・ファンドは、主に年金資金の運用に利用されています。セグリゲイテッド・ファンドの中には、各種の個人契約の変額年金に利用さ

れているものもあります。変額年金の受給額は一定では無く、資産の市場価値に併せて変動します。しかし、個人契約の変額年金のほとんどは、死亡時、または満期時に、払込んだ掛け金の少なくとも75パーセントを払い戻す事を保証しています。保険会社の中には100%保証している会社もあります。

(35) 投資ファンド資産

投資ファンドの資産の成長は次の通りです。

1961年	200万ドル
1970年	54,000万ドル
1980年	696,400万ドル
1985年	1,241,000万ドル
1990年	1,700,400万ドル
1995年	3,031,600万ドル
1998年	5,957,100万ドル



(36) セグレゲイテッド・ファンド — 人気の商品

セグリゲイテッドファンドの特徴は下記の点があげられます。

- 保険会社だけが扱う商品である
- 商品的には投資信託とほとんど同じである
- 特別な保証、保護機能をそなえている

投資家にとり不安定な市場は悩みの種ですが、セグリゲイテッドファンドの場合は、心配はいりません。セグリゲイテッドファンドを利用している限り、どんなに市場が乱高下していても夜はぐっすり休むことができます。商品としては、投資信託とほぼ同じで、マネーマーケットファンドからインターナショナルファンドまで、色々な運用方法があります。追加募集タイプで、払い戻しは純資産価格で行います。利用法は多々有り、401kタイプの年金、月掛けの積立預金のようにも利用できます。

セグリゲイテッドファンドの特典

➢ 元金保証

満期時または加入者の死亡時には元金の75%~100%の払い戻しが保証されています。加入者には元金または市場価格のいずれか多い額が支払われます。また、多くのファンドがリセットの機能を備えていますので、市場価格が上がった時にはその分が自動的に保証されることとなります。

➢ 債権者からの保護

加入者が破産した場合でも、規定の額まで債権者から守ることができます。この特典が適用されるには受取人が、配偶者、子供、孫、または両親であり、変更不可と指定されていること必要です。

➢ 遺産査定費用の節約

受取人を指定し、一種の生命保険契約と考えられるので、契約者が死亡した時には払戻金は直接、受取人に支払われます。従って、通常の場合には、遺産処理に必要な遺言執行人、弁護士が節約できます。また、相続

処理に時間のかかる遺産とは異なり、払戻金はすぐに受け取ることが出来ません。

(37) セグレゲイテッド・ファンド — 人気の商品

スライドでお分かり戴けますように、カナダの保険会社のセグレゲイテッドファンド契約保有高は、1995年は303億1,600万ドルでしたが、1998年には約2倍の595億7,100万ドルまで増加しています。

(38) セグレゲイテッド・ファンド

カナダは、安定した政治と投資家を保護する監督システムをもって、秩序あり、自由な競争が許される保険市場を作り上げ、カナダと世界の人々に安らぎを提供しています。

(39) どうも 有難うございました。